

WANTED!



デジリハでは、以下の人材、施設、
企業を随時募集しています。

- ・ キッズプログラマーとして活躍したい小中学生のみなさん
- ・ Digital Rehabilitation Engineerとして活動したいPT/OT/STのみなさん
- ・ デジリハを導入希望の病院、施設
- ・ デジリハをリハビリに取り入れたいプレイヤー（リハビリをしているお子さま）
- ・ デジリハLABにスタッフとして関わりたい教育関係者、学生のみなさん
- ・ デジリハを応援したいスポンサー企業のみなさん

（共同開発、Future Factory※の設立支援、寄付金など）

下記連絡先までお問い合わせください。

※Future Factoryイメージ図

デジリハが体験できる拠点です。導入前の視察として病院・施設のスタッフが訪れ、デジリハを体験することができます。

また、デジリハ開発のためのキッズデジタルアート＆プログラミング教室も設立すると共に、『リハビリテーション』としての効果や実績を子どもたちに届けるために、研究に適した開発環境を整えていきます。



お問い合わせ

NPO法人Ubdobe（ウブドベ）

Mail: info@ubdobe.jp / Web: www.ubdobe.jp

デジリハ公式WEB SITE ▶▶▶ www.digireha.com



デジタルアートと子どもの視点で
小児医療・療育を革新するプロジェクト

"デジリハ"とは…

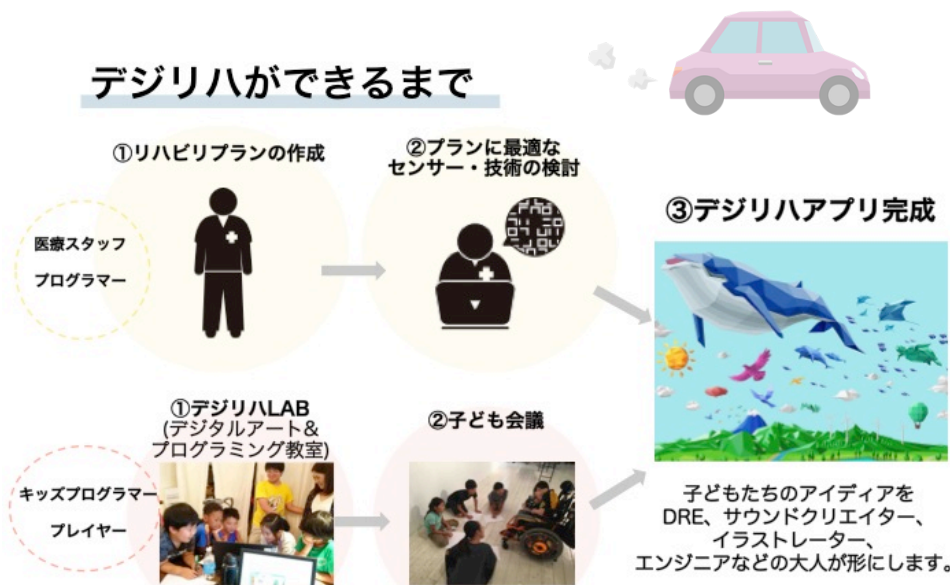


デジタルアートと子どもの視点でつくるリハビリ

『Digital Interactive Rehabilitation System』の略です。

従来のリハビリテーションをベースに、子どもの**“好きなモノ・コト”**を反映したデジタルアートを用いることで、子どもたちが**意欲関心を持ってリハビリに取り組める**ようにすることを目的としています。

デジリハができるまで



※キッズプログラマー：デジリハLABに通う子どもたち
※プレイヤー：リハビリをしている子どもたち



■ 病院や施設への常設イメージ



■ 壁や床にデジリハを映し出す

デジリハの仕組み

デジリハLAB開校

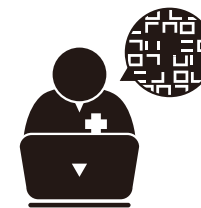
デジリハLABは、子どもを対象としたプログラミングとデジタルアートの教室です。ここでは、ビジュアルプログラミング言語(vvv)を使ってプログラミング技術を習得します。さらに、リハビリの専門職からリハビリについての知識を得たり、子ども会議を通して普段なかなか出会うことのないリハビリをする子どもとの交流を経験します。子どもたち自身がデジリハのアプリ開発に加わりながら『学んだ技術を誰かのために活かす』ことを大切に、心のバリアフリーを広げていきます。



Digital Rehabilitation Engineer (DRE)の育成

Digital Rehabilitation Engineer(DRE)とは、作業療法士・理学療法士・言語聴覚士などの資格とプログラミング技術を持ち、デジリハアプリの開発をする者です。具体的な役割は、

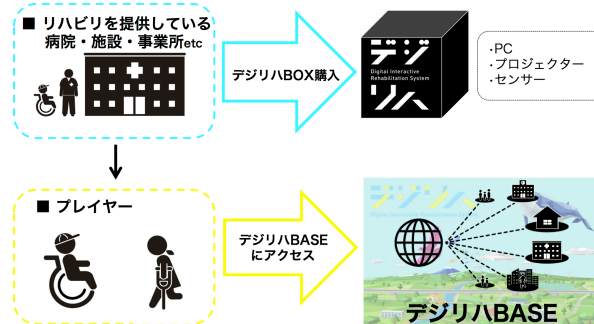
- 1) デジリハLABのキッズプログラマーにプログラミングとリハビリについて教え、ともにデジリハアプリの開発を行う。
- 2) デジリハを導入する病院や施設のセラピストと連携し、現場で使用するために最適な設備や環境などの調整をする。



リハビリの専門職であるDREが開発に関わることで、子どものアイデアとリハビリに有効な動きが取り入れられたアプリの開発が実現されます。

デジリハBASEの構築

デジリハBASE: デジリハアプリをダウンロードするプラットフォーム



※デジリハBOXがある病院・施設・事業所etcに通うプレイヤー

デジリハのアプリをダウンロード可能な状態にします。楽しいことはもちろんですが、確実に効果のあるデジリハプログラムの配信を目指します。

ダウンロードシステムの構築により、世界中の子どもたちに『楽しく効果のあるデジリハプログラム』を届けます。